

A01・A08 ITツールを活用した業務改善

【受講対象】

中堅層

【概要】

業務の省力化や効率化を目指して、ITツールを活用することで業務改善を実現するために、ITツールの特徴と種類を理解し、自社業務に適切なITツールを選定するための知識を習得する。

会場：独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 愛知支部 名古屋事務所
(名古屋市中区錦1-10-1 MIテラス名古屋伏見5階)

講師：森 顕一 (株式会社パワートレイン)

カリキュラム

<p>■ ITツールの種類と活用 《3h》</p>	<p><u>DXとは何か</u></p> <p>昨今の経営課題として取り上げられているDX（デジタル・トランスフォーメーション）について、その概念について解説する。自社にとってのDXを考えるキッカケとする。</p>
	<p><u>業務改善の基本</u></p> <p>業務改善の基本となるOIPの考え方と業務改善のステップについて解説する。その上で、自社でITツールを導入する際の手順（問題発見、あるべき姿の設定、現状とのGAP把握、解決策の検討、ツールの検討、テスト導入、本格導入、ユーザートレーニング）を解説する。</p>
	<p><u>ITツールを活用した業務改善事例</u></p> <p>ITツールを活用して業務改善を行っている事例を紹介する。特に中小企業での活用事例を中心に解説する。ポイントは、少ない投資、適用スピード、小さな成功体験の積み重ね、の3点であることを伝える。</p>
	<p><u>ITツールのトレンドとその種類</u></p> <p>企業活動の様々なシーンでITが活用されているが、ここでは、ITツールのトレンドと、どのような種類があり、どのような現場（シーン）で活用されているのかをツールの側面から解説する。クラウド、IoT、RPA、VRやARなどのメタバース、業務アプリ、AI等の最新ツールも合わせて紹介する。</p>
<p>■ ITツールの業務適用 《3h》</p>	<p><u>自社のありたい姿（ビジョン）を創造する【演習あり】</u></p> <p>3年後の自社のありたい姿（ビジョン）を参加者全員で創造する。ビジョンから逆算して、3ヶ月から1年の間に実現したい目標を設定し、目標を達成するための方法（戦略）を考える。</p>
	<p><u>ITツールの業務適用範囲の検討【演習あり】</u></p> <p>ビジョンに照らし、自社のどの業務をIT化すべきかについて、演習を交えて検討を行う。コミュニケーションの改善、情報の一元管理、ルーチンワークの削減など、自社の課題と照らし合わせて検討する。導入する場合のステップについて、特にスモールスタート・クイックウィンの考え方を解説する。</p>
	<p><u>ITツール利用演習【演習あり】</u></p> <p>クラウドツールを使って自社の情報基盤を構築し、コミュニケーション、ファイル管理・共有、ワークフローの操作体験をデモ環境を用いて行う。</p>